

第3回 八王子市景観計画策定等検討会議 討議資料

1. 八王子らしさとは
2. 景観形成の基本的考え方と取り組みの方向性
3. 取り組むべき主なテーマと具体施策について
4. 中間まとめの構成案について

平成21年1月29日

1. 八王子らしさとは（1）

1) 八王子らしさを考える基礎的条件

■ 景観を構成する要素

- ・ 八王子らしさを考えていく上で、都市の姿を形づくり、またイメージを支えるものについて次のような要素があげられる。

① 都市の成り立ち

- ・ 地形や歴史など、その都市・地域の成り立ちを支える景観

② 都市機能やまちなみの現況

- ・ 人々の暮らしの場や、それらを支える都市機能によって表される景観

③ 距離や位置に応じた景観

- ・ 視点場からの近景、遠景における広がりや見通しなどの眺望景観
- ・ 山並みや建築物など様々な要素によって構成される景観

④ 情景、心象的な景観

- ・ まちの雰囲気や伝統文化、情景を醸し出しているもの、又は時刻や季節の移り変わりなどによって印象の変わる景観

■ 景観の将来像を考える上での基礎的事項

- ・ 八王子らしい景観の将来像を検討する上で、景観を構成する要素に加えて次のような点を考えていくことが重要である。

① まちの目標像や方向性

- ・ 目標とする都市像や、各種計画の位置づけと整合した、総合的なまちづくりとしての景観形成

② 景観形成上の問題点や課題

- ・ 良好な景観を形成するため、良好な景観を守り創ること、悪い景観を改善していくこと

③ 人々の関わり方、取り組みの単位

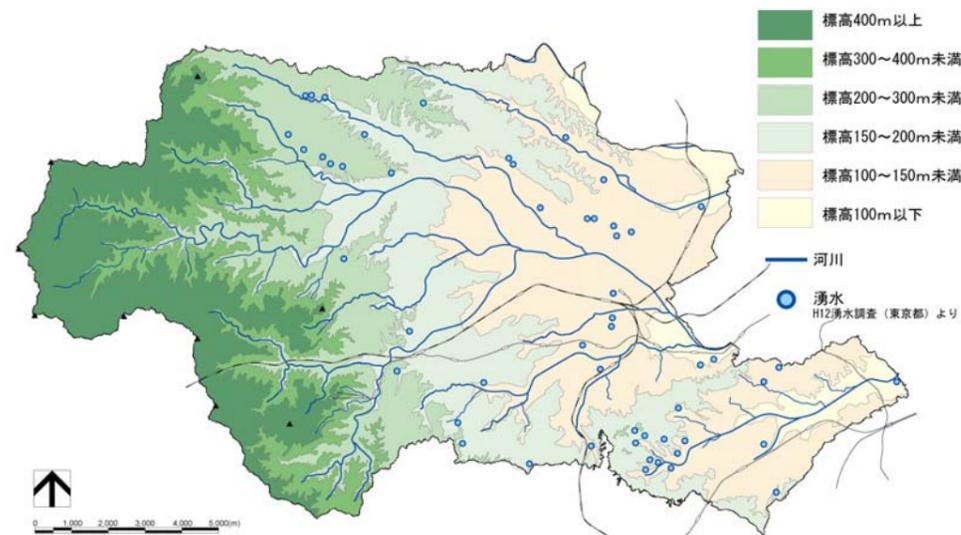
- ・ 良好な景観形成を進めるための様々な主体の役割と対象

2) 八王子市の景観を構成する要素

① 都市の成り立ち

- ・ その土地のもつ地形や自然環境と、その土地における人々の暮らし、営みなどの歴史を通じて生み出される景観で、現在の都市の景観の背景となるもの。
- ・ 山並みや丘陵地、河川などの自然的な景観資源や、都市の歴史的経緯を今に伝える寺社や史跡などの歴史的・文化的な景観資源。
- ・ 丘陵地や河川による起伏に富んだ地形の上で、時代ごとに様々な開発や、保全された緑、文化財など、多種多様な資源が積み重ねられて形成されている景観。

八王子の自然環境

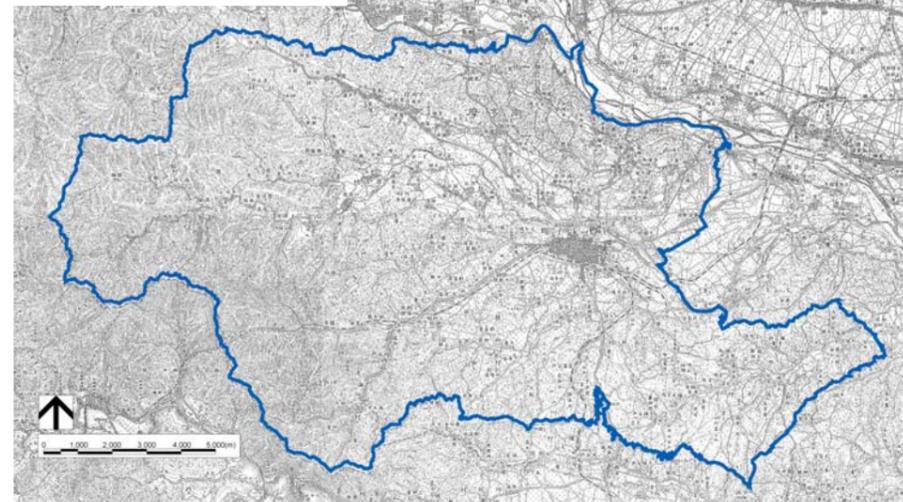


浅川



国史跡の八王子城跡

明治40年頃の八王子市



出典：地図で見る多摩の変遷



甲州街道の老舗（八幡町）

1. 八王子市らしさとは (2)

2) 八王子市の景観を構成する要素

②都市機能やまちなみの現況

- ・人々の暮らしの場や、それらを支える都市機能によって表される景観。
- ・鉄道等の交通施設や開発の時期、立地条件などに応じて様々な暮らしや産業・文化機能が集積し、住宅地、商業地、工業地や、緑地や公園など、人々の暮らしや文化的・経済活動など様々な都市活動に応じた地域やまちなみの景観。
- ・旧街道沿いをはじめとした幹線道路や鉄道沿線における住宅地・商業地の建設や、中心地周辺における住宅団地の開発など、多様な地域が複合し多面的な都市景観が形成されている。

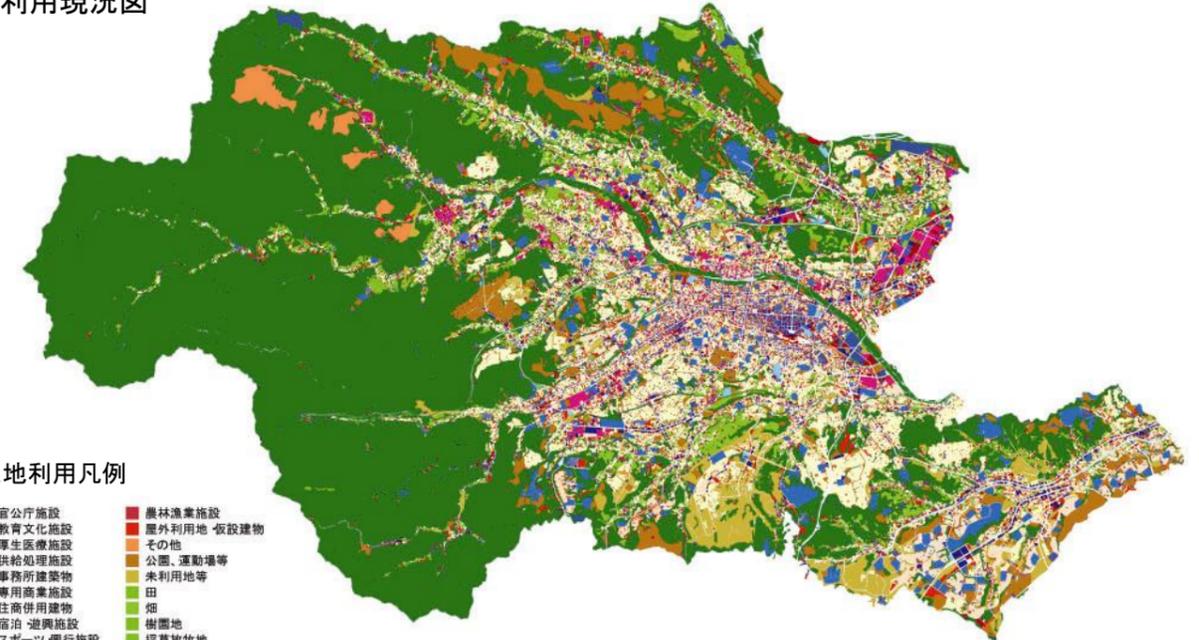
③距離や位置に応じた景観

- ・見る位置や方向、距離に応じて様々な見え方がする景観
- ・建築物のデザインや、樹木、人々の活動の様子がはっきりとわかる身近な場の景観 (近景)
- ・地区の広がりとして目に映る景観 (中景) で、建物群や、並木、またはこれらが連続したまちなみなどの景観
- ・視界が開けた場所や、見通しのきいた場所での遠くに眺める景観 (遠景) で、まちなみと背景の山並みなどが一体的に見られる景観

④情景、心象的な景観

- ・形のあるものや無いものを含めた、まちの雰囲気や伝統文化、情景を醸し出している景観
- ・同じ場所でも、朝と夕焼けなどの時刻や、季節の移り変わりによって、印象の異なる景観

土地利用現況図



土地利用凡例

官公庁施設	農林漁業施設
教育文化施設	農外利用地・仮設建物
厚生医療施設	その他
供給施設	公園、運動場等
事務所建築物	未利用地等
専用商業施設	田
住商併用建物	畑
宿泊・遊興施設	樹園地
スポーツ・興行施設	採草放牧地
独立住宅	水面・河川等
集合住宅	原野
専用工場	森林
住居併用工場	
倉庫運輸関係施設	

出典：平成14年度基礎調査



近景：個々の景観資源、建物の表層など



中景：通りやまちなみなど



遠景：山並み、まちへの眺望など



地域の伝統文化と伝える祭事など



夏と秋(写真右)の甲州街道



1. 八王子市らしさとは (3)

3) 将来像を考える上での基礎的事項

① まちの目標像や方向性

- ・ 目標とする都市像や、各種計画の位置づけと整合した、総合的なまちづくりとしての景観形成
- ・ 行政施策・計画上の位置づけから、個性的・特徴的な景観が形づくられる可能性を探る

② 景観形成上の問題点や課題 — 景観ウォッチングより、主な問題点や課題

○ 市街地周辺の山並みや丘陵地における景観

- ・ 丘陵地を越える通り沿いにおける、資材置き場等の立地などが見られ、周辺の地形やみどりになじまない

○ 中心市街地のまちなみ

- ・ JR 八王子駅周辺や甲州街道沿道における、まちなみとして統一感のない建物ファサードやファニチャー、屋外広告物等
- ・ 様々な設置者や管理者による多くの附帯設備やデザインの混在による猥雑なまちなみ景観
- ・ 八王子まつりをはじめとする伝統行事など人々の活動への配慮が必要

○ 浅川等の河川や水辺の景観

- ・ 南浅川の自然豊かな景観や、保全されている湧水の景観は良好
- ・ 浅川沿川部での大規模マンション建設に伴う眺望阻害

○ 幹線道路沿道

- ・ 旧街道をはじめとした幹線道路沿道における大型店舗や野立て看板等の混在

③ 人々の関わり方、取り組みの単位

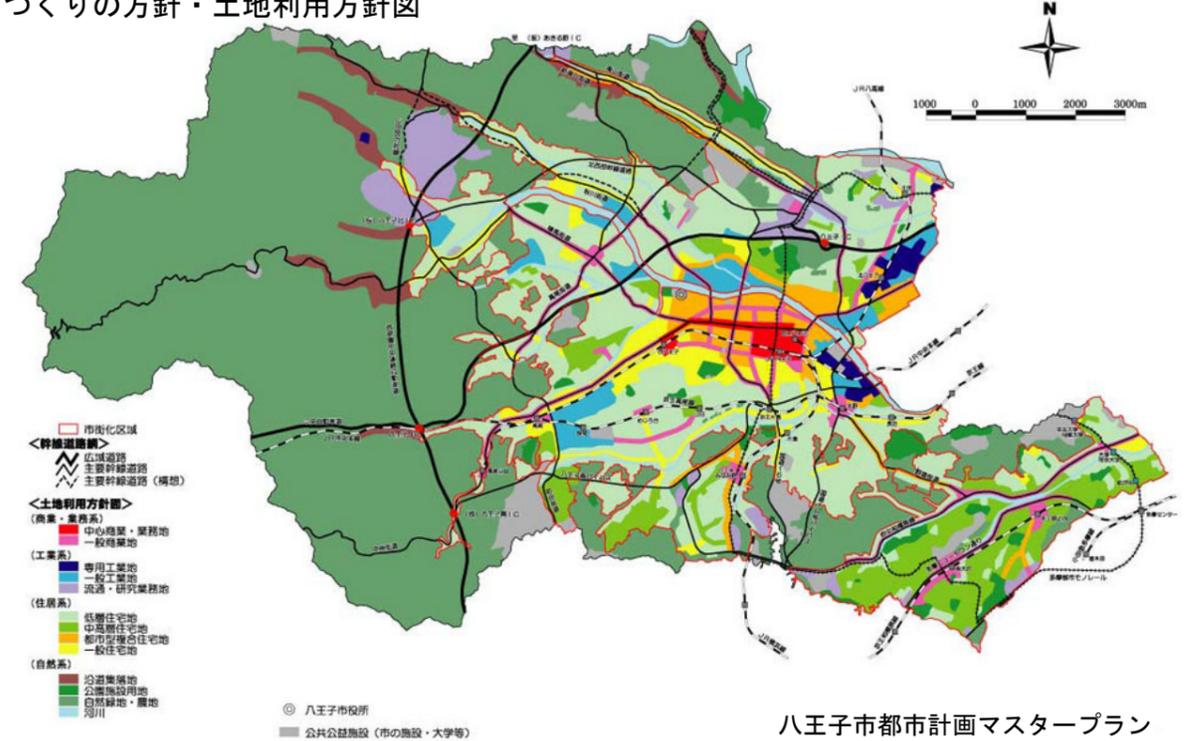
○ 景観形成にあたっての市民、事業者、専門家、行政の役割

- ・ 市民、事業者、行政等が協働して景観づくりに取り組むことを基本
- ・ 行政による良好な景観づくりへの先導的実践や、様々な主体が行う景観づくりの支援、誘導
- ・ 市民が主体となった身近な景観づくり
- ・ 事業者の地域や景観資源とのつながりを意識した創意工夫
- ・ 景観づくりの取り組みにおける専門家の関与

○ 取り組みの対象

- ・ 八王子のイメージをつくり、都市を形づくる骨格となる景観
- ・ 様々な活動の場となるまとまりのある地域の景観
- ・ 個性や特徴を活かした地区の景観
- ・ 個々の良好な景観資源

都市づくりの方針・土地利用方針図



河川越しに目立つ大規模なマンション



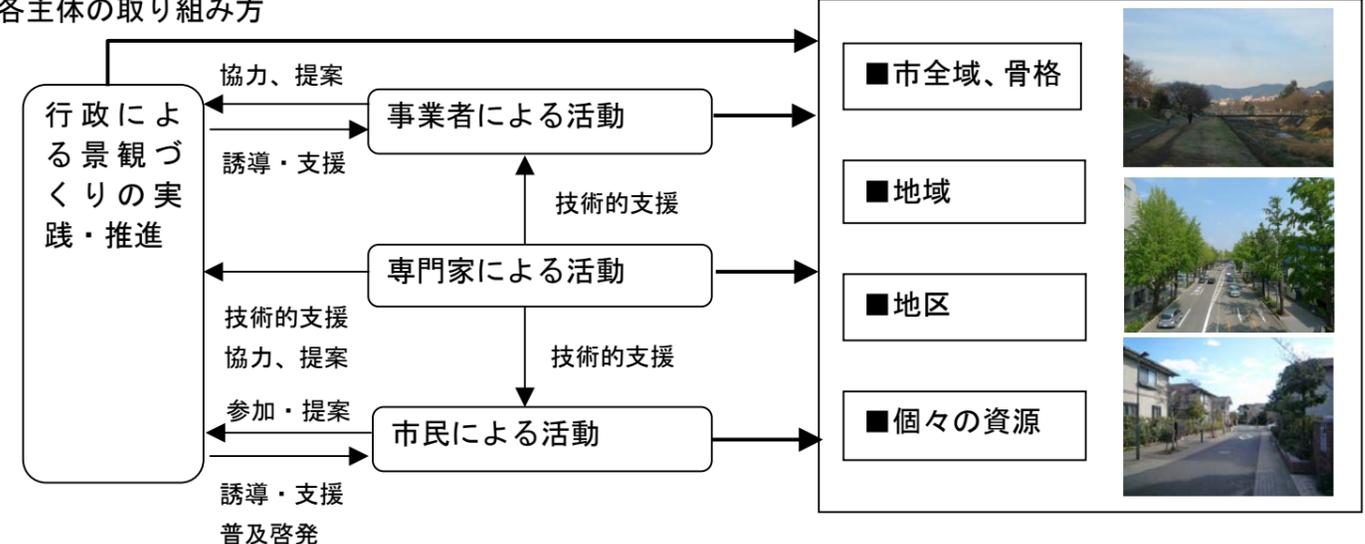
ロードサイド型の商業施設立地が進む秋川街道



郊外部の幹線道路沿いの資材置き場等

八王子市都市計画マスタープラン

各主体の取り組み方



2. 景観形成の基本的考え方と取り組みの方向性

◆八王子らしい景観形成のための基本的考え方

- 様々な景観要素が織りなす八王子の景観、風景の多様性を共有し尊重する
 - ・八王子の都市の姿、イメージを印象づける景観要素や特徴的な地区、資源等を見出し、大切にする
 - ・自然特性と様々な時代を経て積み重ねられた都市の成り立ちを尊重し、まちの個性や魅力につなげ、活力を生み出す
- まちに対する愛着や誇りを育み、心地よい都市環境をつくる
 - ・暮らしやすさにつながる快適な環境を整える
 - ・様々な活動の場に応じた魅力あるまちなみをつくる
 - ・特徴ある地域の個性を引き立て、暮らしや活動の場であるまちへの印象を高める
- 人々によって育成される景観づくりを進める
 - ・八王子の個性や魅力を、市民・事業者・行政が共有し、理解を深める
 - ・個々の取り組み・活動がまちの景観を構成するという公共性、社会性のあるものとして認識し、皆で景観形成に取り組む

◆景観形成に取り組む姿勢

- 八王子らしい良好な景観形成を進めていくため、様々な景観を構成する要素に対して、次のような姿勢で取り組む
- 今ある八王子固有の良いものを守り活かす
 - ・八王子を特徴づける要素や、地域固有の資源など、貴重な景観資源を再認識し、今ある景観のよさを守り活かした景観形成に取り組む
 - 後世に受け継がれる質の高いものをつくる
 - ・地域の固有性を尊重しつつ、将来的に洗練された良質なストックとなる景観の形成に取り組む
 - 景観上の問題点や課題を改善する
 - ・良好な景観要素、眺望景観になじまないものや阻害するもの等の改善に取り組む
 - 様々な主体が景観づくりを担う
 - ・市民、様々な活動団体、事業者や専門家等と行政が連携して、長期的に持続可能な景観形成に取り組む

◆取り組みの方向性

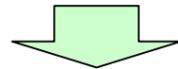
- 山並みや水辺など骨格となる景観を大切にする
 - ・高尾山などの山並みや、市内を貫流する河川など、都市の景観を支え、イメージを形成する骨格となる景観資源を大切に守り活かした景観形成を進める
- 地域の歴史に根ざした個性あるまちなみをつくる
 - ・都市の形成過程の中で蓄積された地域・地区固有の景観資源を見出し、その保全・活用、改善などを通じて、個性的・魅力的な景観形成を進める
- 都市の発展や活力につながる快適で魅力ある景観をつくる
 - ・都市を舞台として展開される暮らしや経済的・文化的活動など様々な都市活動を支える都市基盤を良質なものとしつつ、都市の活性化に資する安全・快適で魅力的な景観を形成する
- 優れた眺望景観を守り演出する
 - ・優れた眺望が得られる場所や、対象となる眺めを守るとともに、眺望を楽しむ場の形成や、これらに配慮した都市の景観を形成する
- 多様な自然や歴史的・文化的景観のつながりに配慮した格調高いまちなみをつくる
 - ・常に変化するまちの中で、急激に変わるのではなく、豊かな自然環境と都市の空間的なつながりや、過去から現代の時間的つながりに配慮するとともに、これにふさわしい質の高いまちなみをつくる
- まちなみ全体が調和した中で個性や魅力を引き立てる
 - ・地域・地区にある固有の価値、特性を見出すことで、多様性を尊重した個性ある景観形成を進めるとともに、それらをまちなみの基調とした秩序ある景観を形成する
- 市民に親しまれる身近な景観づくりを進める
 - ・日々の暮らしや活動の中で、より魅力的な景観が形成されるものであり、日常の中で最も身近に感じられる景観づくりを展開し、八王子の良好な景観形成につなげる

3. 取り組むべき主なテーマと具体施策について（1）

1) 取り組むべき主なテーマ

◆景観形成の取り組みの方向性（前頁から再掲）

- 山並みや水辺など骨格となる景観を大切にする
- 地域の歴史に根ざした個性あるまちなみをつくる
- 都市の発展や活力につながる快適で魅力ある景観をつくる
- 優れた眺望景観を守り演出する
- 多様な自然や歴史的・文化的景観のつながりに配慮した格調高いまちなみをつくる
- まちなみ全体が調和した中で個性や魅力を引き立てる
- 市民に親しまれる身近な景観づくりを進める

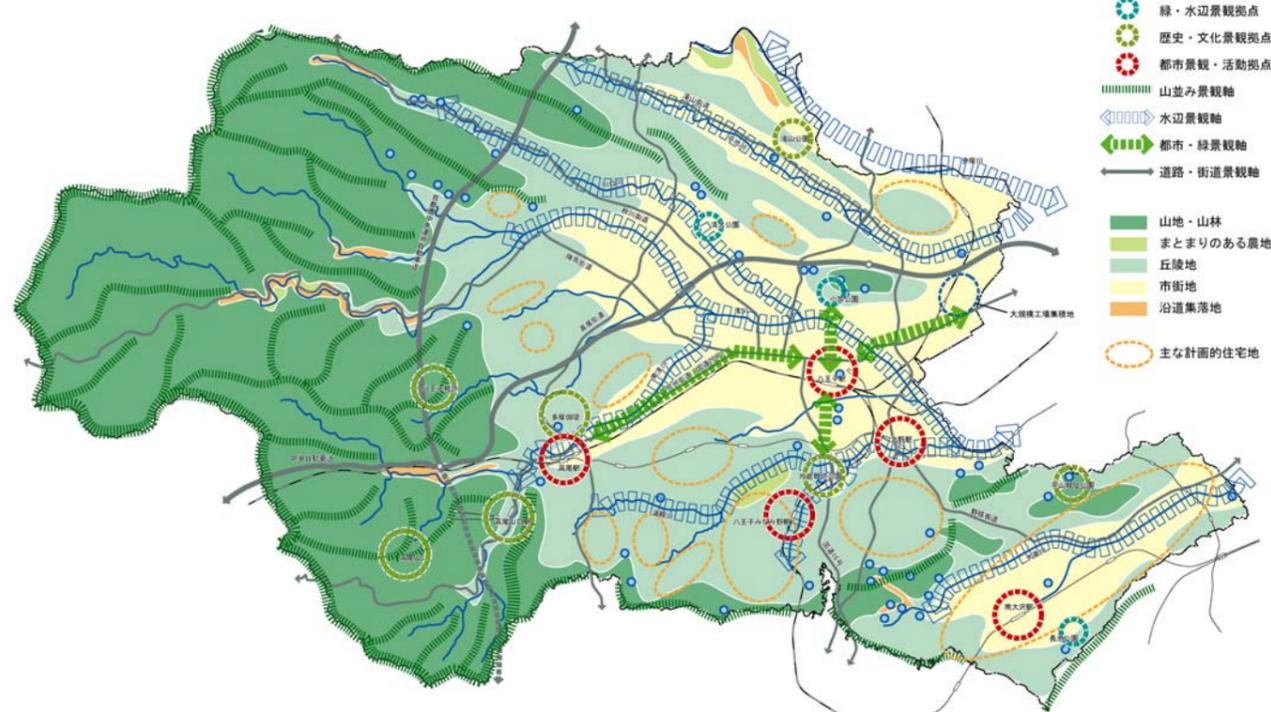


◆取り組み方、進め方について

- ・都市全体としてのまちづくりの課題や方向性等に即して、行政として取り組むべきテーマ、優先的・重点的に対応すべきテーマ、地区を検討
- ・地域、地区、個々の景観資源ごとの取り組みについて、その状況、取り組みの熟度等に応じて、段階的に、継続的に実施していくことを検討



景観構造図



◆取り組むべき主なテーマ

○緑や水を守り活かした景観づくり

- ・まちなみの背景となる山並みや丘陵地などのみどりを大切にする
- ・暮らしを支える河川や湧水などの水辺空間を大切にする
- ・ふるさととしての落ち着きと潤いを感じさせる農地や里山、谷戸を守り育む
- ・まちなかの農地や緑のある場所を守り育む 等

○歴史・文化が感じられる景観づくり

- ・まちの歴史・文化を受け継ぐ資源を守り育み後世に伝える
- ・その土地にまつわる歴史や文化、人々の活動や交流を守り活かし、まちのイメージを高める 等

○魅力的な質の高いまちなみづくり

- ・都市の顔となる駅周辺を魅力あるものとする
- ・多様な地域をつなぐ幹線道路沿道の景観を整える
- ・様々な活動が映える都市空間をつくる 等

○開放的な眺望を守り育む景観づくり

- ・個性豊かな眺望景観を守り育む
- ・良好な眺望の得られる視点場とその対象を守る 等

○多様性を感じさせる景観づくり

- ・特徴的な地区の個性を守り活かす
- ・横断的に広がる景観資源を基調としつつ、地区の特性を活かした魅力づくり
- ・商業地や工業地など、都市活動の場に応じた景観を守り創る 等

○暮らしやすさにつながる生活空間づくり

- ・まちなかの緑やアメニティ空間を充実させる
- ・安全で快適な歩行者空間をつくる
- ・潤いと落ち着きのある生活環境をつくる
- ・良質なストックとなる公共空間をつくる 等

○様々な人々の活動や提案が育てていく景観づくり

- ・景観に対する関心を高め理解を深める
- ・身近な景観づくりの担い手を育成する
- ・身近な生活空間の景観づくりを推進する 等

3. 取り組むべき主なテーマと具体施策について（2）

2) 取り組みのテーマと施策例

○緑や水を守り活かした景観づくり

◆まちなみの背景となる山並みや丘陵地などのみどりを大切にする

◇テーマ（場所）における景観特性と課題



市街地を取り囲む山並み・丘陵地でまちなみの背景として眺められる



丘陵地における資材置き場等（高尾街道沿道）



市街地内に分布する丘陵地の斜面緑地



まちなみの背景に広がる丘陵地の斜面緑地

◇景観まちづくりの方向性と施策例

○山並みや丘陵地の緑、地形を保全活用した景観づくりを目指す

- ・既存樹木・樹林地を残し保護する
- ・自然環境保全などの規制措置のない大切なまとまりのある緑地を保護する
- ・開発の抑制、周辺の地形やみどりになじんだ開発として誘導する

○地形やみどりへの眺めを活かした景観づくりを目指す

- ・山並みへの眺望など、良好な開けた眺望が得られる場所を確保し、眺望を楽しむ場として、視点場を確保、整備する
- ・良好な眺望を確保するための建築物等の規模や高さを誘導する

○まちなみの背景として、借景として活用した景観づくりを目指す

- ・周辺地域からの見え方に配慮した建築物等の規模や高さ、形態意匠（色彩含めて）を等誘導する
- ・地形や緑とのつながりに配慮し、開発における緑化促進など自然環境を増やす

◆暮らしを支える河川や湧水などの水辺空間を大切にする

◇テーマ（場所）における景観特性と課題



眺望の開けた浅川



南浅川と背後の山並みの眺め



浅川からの眺めと沿川部での高層マンション



子安神社の保全されている湧水

◇景観まちづくりの方向性と施策例

- 河川の連続した自然環境を活かし、潤いと安らぎのある景観づくりを目指す
 - ・身近にある貴重な自然環境として保全し、河川構造物等の自然環境との一体性に配慮したものとして整備する
 - ・水の流れを間近に感じられるよう、親しみのある水辺空間を創出し、活動の場として活用する
- 河川の開放的な環境を守り活かした景観づくりを目指す
 - ・沿川部の市街地において、建築物が眺めの中に突出しないように規模や形態意匠などを誘導し、自然環境に配慮したまちなみに整える
 - ・見通しや空間的な広がりやに配慮した橋梁等のデザインを誘導するとともに、橋詰めなどを開放的な眺望を楽しむ場として活用する
- 湧水や水路等を活かした潤いのある景観づくりを目指す
 - ・水辺へのアプローチ空間を創出し、地域固有の資源として保全活用する
 - ・身近な親しみのある水辺空間として保全し、貴重な自然環境との調和に配慮したまちなみとして誘導する

3. 取り組むべき主なテーマと具体施策について（3）

○歴史・文化が感じられる景観づくり

◆まちの歴史・文化を受け継ぐ資源を守り育み後世に伝える

◇テーマ（場所）における景観特性と課題



旧甲州街道の往時の面影を残す黒塀



寺社の背景に立地する高層マンション



高尾山参道のまちなみ



八王子八十八景の高尾駅駅舎

◇景観まちづくりの方向性と施策例

○歴史的・文化的資源を再認識し、地区固有の歴史・文化として保全活用した景観づくりを目指す

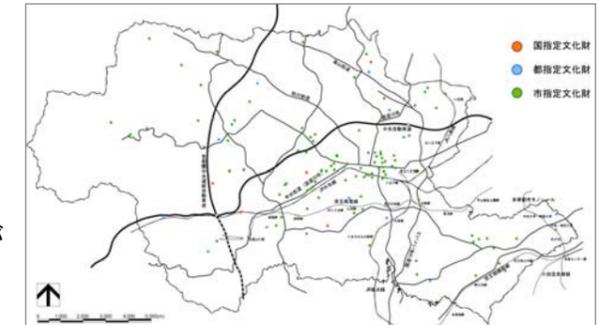
- ・地域・地区での資源の発見、共感を促し、固有の資源としての理解を深めるよう普及啓発を進める
- ・指定された文化財のみならず、八王子八十八景「歴史・文化の景」など、歴史的・文化的資源に対する適切な評価、維持管理の仕組みを構築する

○個々の資源や、地区の歴史的な趣を保全活用した景観づくりを目指す

- ・寺社や参道などの歴史的まちなみなど、地区全体として歴史・文化を基調としたまちなみとして誘導する
- ・歴史的・文化的資源の背景や隣接する場所における建築物等の規模や形態意匠の誘導、緩衝となる緑化推進等を行う

◆その土地にまつわる歴史や文化、人々の活動や交流を守り活かし、まちのイメージを高める

◇テーマ（場所）における景観特性と課題



市内には数多くの文化財が指定保護されている



八王子まつりで甲州街道を巡行する山車と、巡行の妨げとなる交通標識



◇景観まちづくりの方向性と施策例

○まちのストーリー性の感じられる景観づくりを目指す

- ・まちの由来を再認識し、身近な景観の大切さを発見できるよう、学校教育や景観セミナー等を通じて景観に関する情報を収集・提供する場を設ける
- ・まちの歴史・文化、由来等を活かし、現在の都市環境を踏まえた景観づくりを検討していく

○伝統行事・祭事など人々の活動・交流が映える景観づくりを目指す

- ・伝統行事や祭りが行われる場所について、これに相応しい景観とするため、公共空間の整備とともに、周辺の建築物等の形態意匠等を誘導する
- ・道路や広場等を活動しやすい場として整備、維持管理を行う

3. 取り組むべき主なテーマと具体施策について（4）

○魅力的な質の高いまちなみづくり

◆都市の顔となる駅周辺を魅力あるものとする

◇テーマ（場所）における景観特性と課題



JR 八王子駅北口の大規模な駅ビル



八王子駅北口の桑並木通りと見通しの先にある北部の丘陵地



歩行者専用道路である西放射ユーロード



往時の面影を残す中町の黒塚

◇景観まちづくりの方向性と施策例

○都市の玄関口として相応しい顔となる質の高い景観づくりを目指す

- ・南北の丘陵地への眺望や、伝統的な建造物など、固有の景観資源を活かした八王子の個性を演出、象徴する景観形成を進める
- ・まちなみの景観・デザインの秩序とゆとりある空間を創出し、まちの品格を高める
- ・活気あるまちづくりに資するよう、街路樹や緑地・広場、歩きやすい歩行者空間等快適な公共空間づくりを進め、人々の回遊性を高める

○賑わいのある都市活動の拠点としての景観づくりを目指す

- ・賑わいを際立たせるよう秩序あるまちなみの景観・デザインを誘導する（建築物のファサードや広告物等の整序、施設の意匠や色彩等を統一的なものに誘導、舗装パターンの一体性や連続性の表現など）
- ・市街地開発における交流の場の形成や風格のある景観・デザインの実践

○市民だけではなく、来街者が訪れたい魅力ある景観づくりを目指す

- ・もてなしの場として、過度な商業主義的なものや施設整備は避け、洗練されたデザイン、演出に努める
- ・無電柱化や施設機能の整理統合など、快適でゆとりある歩行者空間を創出する

◆多様な地域をつなぐ幹線道路沿道の景観を整える

◇テーマ（場所）における景観特性と課題



市中央を走る甲州街道のイチヨウ並木



ロードサイド型の商業施設立地が進む秋川街道



整備された新滝山街道と野立て看板の立地

◇景観まちづくりの方向性と施策例

○秩序ある洗練された景観づくりを目指す

- ・視覚的な連続性に配慮し、沿道に立地する建築物等の規模、形態意匠などを誘導し、連続する道路景観を整える
- ・沿道に立地する大型店舗や屋外広告物などについて、過度に目立ちすぎないように整序する
- ・甲州街道のイチヨウ並木をはじめとした緑豊かな道路沿道について、緑を基調とした、風格のある景観形成に向けて沿道の建築物等の形態意匠などを誘導する
- ・道路上の管理施設やストリートファニチャー等を整理統合するとともに、統一的なデザインとする

○見通しなど眺めに配慮した景観づくりを目指す

- ・山並みや丘陵地の緑等への見通しやアイストップを考慮し、街路樹の整備等、印象的な道路景観を形成する
- ・交差点などの道路結節点において、過剰な案内・広告の設置を避ける

○周辺地域に配慮した質の高い景観づくりを目指す

- ・丘陵地や樹林地、農地等を走る道路沿道については、周辺の自然的環境に配慮した道路施設の整備を行うとともに、沿道の土地利用等をコントロールする
- ・歩道整備や沿道建物のセットバックの誘導など、歩行者や自転車の安全性を確保する

3. 取り組むべき主なテーマと具体施策について（5）

○眺望を守り活かした景観づくり

- ◆個性豊かな眺望景観を守り育む
- ◆良好な眺望の得られる視点場とその対象となる場所を守る

◇テーマ（場所）における景観特性と課題



甲州街道と背景に広がる山並み



丘陵地の住宅地からの眺め
(めじろ台団地)



広がりのある一団の農地の開放的な眺望景観（小比企町）

◇景観まちづくりの方向性と施策例

○良好な眺望の得られる視点場を守り活かした景観づくりを目指す

- ・丘陵地や河川、橋詰め等、良好な眺望の得られる公共の視点場を定め、広場やアプローチ等を整備する
- ・視点場と眺望の対象となる場所を結ぶエリアについて、眺望を阻害しないよう、或いは見え方への調和に配慮するよう建築物等の高さや形態意匠を誘導する

○自然的環境と都市的環境の共存が図られた景観づくりを目指す

- ・まとまりのある丘陵地の緑や農地で、眺望景観でも重要な場所の周辺地域においては、背景となる自然的環境との調和に配慮するよう、開発の抑制、建築物等の規模や形態意匠などの誘導を行う
- ・開発等において、公共空間から見える場所の緑化を促進するなど、背景となる自然的環境になじむよう誘導する

○場所に応じた見通し・見晴らしを演出し、まちの魅力づくりにつながる景観づくりを目指す

- ・丘陵地の坂道や幹線道路など、特徴的な眺めのある場所について、開放感を圧迫しないよう、沿道の建築物の規模や形態意匠等を誘導する

○多様性を感じさせる景観づくり

- ◆特徴的な地区の個性を守り活かす
- ◆横断的に広がる景観資源を基調としつつ、地区の特性を活かした魅力づくり 等

◇テーマ（場所）における景観特性と課題



山麓部ののどかな景観（鍵水町）



約 36ha の大規模な敷地に立地する東京工科大学



IT 産業等の集積する工業地
(北八王子駅周辺)

◇景観まちづくりの方向性と施策例

○地区ごとの個性を活かした魅力ある景観づくりを目指す

- ・歴史・文化を感じられるまちや、駅周辺などの顔となるまち、多摩ニュータウンなどの整ったまち等、地域・地区ごとの特性を見出し、景観づくりの目標を考え、景観形成を進める
- ・住宅、商業、工業等多様な都市機能が混在するまちについては、暮らしの場を基本としつつ、建築物の部分的に共通する形態意匠等や敷地内緑化の誘導を図り、秩序あるまちなみ景観の形成を図る
- ・大学や工場等の大規模な都市機能・施設など、まちを印象づける景観資源として積極的に活用することを目指し、まちなみ・デザインに関する協議・調整を行い、より質の高い景観形成を図る

○広範囲、連続的に広がる景観資源を基調とし、活用したメリハリのある景観づくりを目指す

- ・山並みや丘陵地、河川等や大規模なまとまりのある土地利用等、市全体の多様性を感じさせる骨格となる景観資源を基調とし、これらとの調和に配慮したまちなみとして誘導する
- ・地区の持つ景観資源を積極的に活用し、市全体としての調和を図りつつ、独自のルールづくりなど、地区の個性と魅力を創出する

3. 取り組むべき主なテーマと具体施策について（6）

○暮らしやすさにつながる生活空間づくり

- ◆まちなかの緑やアメニティ空間を充実させる
- ◆安全で快適な歩行者空間をつくる 等



道路の狭い住宅地（新町）



まちなみの整っている計画的住宅地（みなみ野シティ）



ニュータウン内に建設された高層マンション（二次開発）

◇景観まちづくりの方向性と施策例

○暮らしの快適性を高める景観づくりを目指す

- ・宅地内の既存の緑を残し、個々の開発や建て替え等において緑や小広場等を増やすよう誘導し、潤いのある景観を形成する
- ・建築物等の形態意匠など一定のルールを設け、全体の基調が整ったまちなみとして誘導する
- ・丘陵地の計画的住宅地においては、整ったまちなみと、宅地内の緑や斜面緑地を保全し、緑豊かな落ち着いたあるまちなみとして誘導するとともに、市街地への眺望が得られる小広場の整備等地区の魅力づくりに努める

○心地よいと感じられる歩行者空間の景観づくりを目指す

- ・憩いの場となる広場的空間の設置や電線類地中化等による無電柱化など、利便性、安全性に配慮した道路整備の工夫を行う。
- ・歩道と建物敷地が一体となったゆとりのある歩行者空間の創出のため、沿道の壁面後退や仕上げのデザインの統一化等を誘導する
- ・過度なデザインの広告物やストリートファニチャーは避け、歩行者動線を妨げないよう設置を工夫する
- ・街角や見通しのきいた坂道など、場所に応じてアクセントとなる空間の演出を行う

○様々な人々の活動や提案が育てていく景観づくり

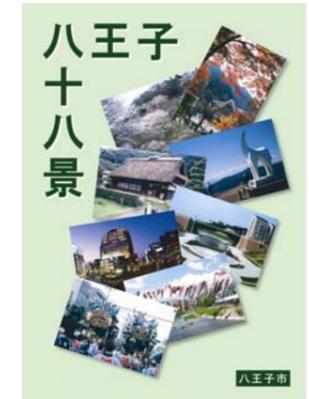
- ◆景観に対する関心を高め理解を深める
- ◆身近な景観づくりの担い手を育成する 等



景観セミナーの実施



市民参加によるまちづくりの実施（地区まちづくり推進条例パンフレットより）



市民公募による八王子八十八景の選定

◇景観まちづくりの方向性と施策例

○景観に関する市民意識等を醸成し、八王子の景観の大切さを共有する

- ・八王子の景観資源の収集・周知を行い、幅広く景観に関する知識・理解を深める
- ・市民による景観資源の発見、共有化や、事業者等への認識、保全活用を促す
- ・守るべき景観資源の適切な評価や、市民が関わって資源の維持管理を行う仕組みをつくる
- ・行政の横断的な連携、体制づくりを進め、様々な場面での景観づくりを推進する

○地域が自発的に取り組む仕組みをつくり、担い手を育む

- ・市民活動・地域活動等の多様な主体が景観づくりに取り組めるよう支援する仕組みづくり、活動の場の提供等を進める
- ・景観セミナーの継続的实施や、学校教育と連携した景観に関する学習を推進する
- ・様々な景観づくりの場面での専門家の関与を図る

○身近な生活空間の景観づくりを進め、地域のコミュニティを育む

- ・身の回りのゴミ拾いや植栽など、身近な生活空間における取り組みや、地域・地区ごとの取り組みなどを推進するよう多方面から支える
- ・活動の熟度に応じたインセンティブや、活動のための環境整備など、景観づくりを推進する支援体制を構築する

4. 中間まとめの構成案について

今年度の中間まとめ

